

ポイントのつく大会に出場するにあたり

ジュニア選手のみなさんへ

関東テニス協会ホームページに掲載されている「ジュニアハンドブック」より抜粋
全文はこちらから(リンク)⇒ <http://www.kanto-tennis.com/handbook.pdf>

ポイントのつく大会に出る場合は注意することがあります。読んでおきましょう！

■ダブルエントリーとは

- * 大会要項に記載されている本戦日程が重複している 2 つ以上の大会に申し込んでいる状態を意味します。
- * 予選及び予備日は本戦の日程とはみなしません。
- * 大会要項で、本戦と予選の日程を区別して発表していない大会は、すべて本戦の日程となります。本戦が 1 日でも重複している大会にエントリーした場合は、どちらかを選んで出場してください。
- * 出場する大会を決めたら、欠場する大会の主催者に欠場大会の要項に記載されている本戦初日の前日(17:00)までに「欠場届」を提出してください。
- * エントリーした複数大会の種目(シングルス、ダブルス、年齢区分)が違っていてもダブルエントリーとなります。
- * 本戦が重複している 2 つ以上の大会(本戦)に出場したり、欠場届を提出しないと両大会(2 大会以上重複している場合は、それらすべての大会)とも予選ポイントも含め「0 ポイント」となります。(ランキング対象大会には加えない)
- * 本戦日程が大会要項上で 1 日でも重なっていたら「0 ポイント」になりますので注意しましょう。
- * 要項において、種目別に本戦日程が発表されている大会は種目ごとの日程が基準になります。

【例 1】

2 大会に申し込んだ選手が、両大会とも最初から本戦に出場できた場合どちらかを選んで出場してください。その時は欠場する大会の主催者に対して 本戦初日の前日(17:00)までに、欠場届を提出してください。

【例 2】

2 大会とも予選から勝ち上がり、本戦日程が重なっている場合 どちらかを選んで出場してください。その時は欠場する大会の主催者に対して 本戦初日の前日(17:00)までに、欠場届を提出してください。

【例 3】

1 大会は本戦から出場、1 大会は予選を勝ち上がり本戦出場になった場合 どちらかを選んで出場してください。その時は欠場する大会の主催者に対して 本戦初日の前日 (17:00) までに、欠場届を提出してください。

【例 4】

実際に行われた本戦日程がたまたま重複せずに、両大会とも支障なく試合ができた場合でも、大会要項の日程が重なっていれば「0 ポイント」となります。

また、出場しなくても、欠場届を出さなかった場合は出場したとみなし「0 ポイント」となります。

《例外として》

- ① 日本テニス協会・関東テニス協会が主催するグレード 1 および 2 のジュニアトーナメントと重複した大会に出場した場合は両大会ともポイントが与えられます。
- ② 各都県高体連、中体連（中テ連）の主催するポイント対象大会と重複した場合は両大会のポイントが与えられます。
- ③ 国際大会はダブルエントリーの対象となりません。

■上の年齢区分でエントリーする場合のポイント

* どの区分にエントリーするか ジュニアの大会は普通、18 歳以下、16 歳以下、14 歳以下、12 歳以下、等年齢により、区分されています。

* 年齢の基準は、1 月 1 日から 12 月 31 日までです。

* 通常は、自分自身の年齢区分にエントリーしますが、上の年齢区分にエントリーしてもかまいません。

* ただし、都県ジュニア選手権大会以外のグレード③の大会とグレード④の大会については、実年齢区分より 2 区分以上上の種目（例：14 歳以下の選手が 18 歳以下、12 歳以下の選手が 16 歳以下・18 歳以下）に出場してもポイントはつきませんので注意して申し込みしましょう。

* また、10 歳以下の選手が 14 歳以下、16 歳以下、18 歳以下の種目に出場することはできませんが、ポイントは付きません。

* 一つの大会で異なる年齢種目に重複してエントリーできません。ドローに氏名が載ったり、出場してしまった場合は両種目とも失格となり、0 ポイントになります。

* 都県ジュニア(関東ジュニア選手権大会予選)、関東大会、全国大会及び国際大会は 2 区分以上、上の年齢に出場してもポイントはつきます。

大会グレード・ポイントについては 関東テニス協会「ジュニアハンドブック」P13 に詳しく書かれています。